

2019-20年度 福島北ロータリークラブ

第28回 例会 会報

令和2年2月18日（火）12:30～13:30

クーラクー リアンテ サンパレス5階「ル・レポ」

司会：立花志明副幹事

- (1) 開会点鐘 鈴木宏幸会長
- (2) ロータリーソング『我らの生業』 ソングリーダー 樋口幸一会員
- (3) お客様紹介 鈴木宏幸会長

学校法人松韻学園福島高等学校 IAC 顧問 根本裕之先生

2年生 長谷川太一様

1年生 渡辺ここな様

- (4) 会長あいさつ 鈴木宏幸会長

皆様こんにちは。

本日は、祝日休会を挟んでの2週間ぶりの例会となります。新型コロナウイルスによる感染症の問題が世界中に影響を与えている中、改めて皆様の元気なお姿を拝見でき、大変うれしく思います。特に、先月末から体調を崩されていた北川幹事が元気なお姿で復帰され、安堵しております。皆様方には、時節柄、ご自愛くださいます様、よろしくお願いいたします。

さて、本日のプログラムは「学校法人松韻学園福島高等学校インターアクトクラブ」の皆様による「活動報告」となっております。本日は、日頃よりご指導を賜ります顧問教諭の根本裕之先生、そして、活動報告をして下さる長谷川さんと渡辺さんにお越しいただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

ここで、ロータリー情報として「インターアクトクラブ」に関するお話をさせていただきます。基本的なお話しになりますが、「インターアクト」という用語は、どのようなことを表しているか皆様ご存じでしょうか。「インターアクト」とは、インターナショナル（国際）を意味する「インタ」とアクション（行動）を意味する「アクト」に由来しています。

1962年、米国で最初のクラブが設立され、日本においては1963年に宮城県の「仙台育英学園高等学校（提唱、仙台東RC）」が日本第1号のインターアクトクラブとして誕生しております。

そして、本地区（第2530地区）における第1号が、1966年に当クラブが提唱させて頂いた「学校法人松韻学園福島高等学校インターアクトクラブ」であり、地区内20クラブある中で、根本先生のご指導の下、リーダークラブとしてご活躍いただいております。

もともと、ロータリーは「奉仕の理想」を成年、特にある程度成功した社会人に浸透させるようと努力しましたが、それでは遅すぎるということから、青少年にまで活動の範囲を広げることになりました。現在は、12歳から18歳までの青少年又は高校生のための「社会奉仕クラブ」として、世界の159の国に2万を超えるクラブが存在し、インターアクターの数は46万8千人を超えています。

会員の皆様には、このようなインターアクトクラブに関する情報をご認識していただいた上で、本日の「活動報告」をご聴講いただければと思います。

本日もどうぞよろしくお願い申し上げます。

- (5) お食事

洋風松花堂弁当 豚肉のフリカッセ 白身魚のシチリア風ソテー 鶏むね肉ときのこのサラダ

ご飯 味噌汁

- (6) 幹事報告 北川 宏幹事

<例会変更のお知らせ>

・福島東RC 2/21（金）は、創立45周年記念式典となります。

<その他お知らせ>

・当クラブ、次週2/25（火）は福島RCとの合同夜間例会（創立記念祝賀会）となります。

- (7) 各委員会報告

(a) 出席・ボックス委員会

瀬戸秀典会員

・福島高等学校IACの皆様を歓迎して。

鈴木宏幸会長

・IACの皆様、活動報告よろしくお願いします。

北川 宏幹事

小林忠道会員・佐藤吉弘会員・倉島紀夫会員・宮崎泰明会員・大河内重男会員・佐藤明信会員
太田浩之員・半澤泰夫会員・木村春夫会員・樋口幸一会員・熊坂邦男会員・山川正人会員
高野重信会員・齋藤隆幸会員・阿部友弘会員・渡辺敏治会員・立花志明会員・中野久之会員
花見政行会員・佐藤智之会員・高橋博明会員・作田謙太郎会員・二瓶盛一会員・白坂裕会員
深瀬善太会員・瀬戸秀典会員
坪井雄大様・森岡幸江様（福島RC）

合計29名より、72,000円お預かりしました。ありがとうございました。

（8）例会日程

学法福島高等学校IAC活動報告

（9）閉会点鐘

鈴木宏幸会長

（会報作成者：中野久之）